

# 給付金10万円の使い道は、「生活費の補填」や「貯蓄」という堅実的な声が多く見られました



先月、特別定額給付金10万円が支給されることが発表になったことを受け、**Ipsos UU**では、[シンジケートコミュニティ](#)に参加しているメンバー達に、「給付金10万円の使い道」について問いかけてみました！その結果、新型コロナウイルスの影響による収入減や先行き不安により、10万円は生活費補填や貯蓄にまわすという声が多く、趣味や娯楽などに使ったり、「経済をまわす」という形で使用する意識が弱いことが浮き彫りになりました。

＜調査結果の抜粋＞ 10万円の給付金をどのように使いますか？

## 使い道として回答が多かったものは・・・

### ①生活費の補填

“ **食費が普段よりも増えているため、生活費にきえていきそう**です（涙）欲を言えば、部屋の衣替えの為に使いたところですが、夫の夏のボーナスも期待できないため、無駄遣いは出来ないのが現状です。



“ 仕事が激減したので、その穴埋め（生活費の足し）に使わせてもらいます。

### ②貯蓄



“ 今の状況を見ていると この先何が起こるかわからない。そう考えると 貯金です。 ひたすら貯金。

“ この先がまるで見通せないので手をつけません。手をつけられません。不測の事態に備えて貯金します。

### ③ 子供の学費・住宅ローンの返済・納税の補填

“娘2人の学費”にあてがいます。本当は経済活性化のために使わないといけないのですが、休業要請を受けて、自分の給与が減ったためその穴埋めになりそうです。

ボーナスはあてにならないので、車の税金と固定資産税にあてる予定です。

“住宅ローンの返済に充てるつもりです。この先、コロナが収束してもコロナ不況は続くと思うので、ローンは少しでも減らしておきたいです。”



仕事が減ったことによる収入減、食費の増加、テレワークのための不意の出費、ボーナス削減、経済への不安・・・などによって、なかなか本来使いたいことに使うのは難しいのが現状のようです。

ただし、一部ではありますが、下記のような「アフターコロナ」の新しい日常を見据えた使い道も挙がってありました。

#### ● 終息後の外食・旅行

“旅行にいけるようになったら夫婦で温泉旅行に行くときに使いたい。”

“終息したら、家族で食事を豪華に使う予定です”



#### ● 休業続きでピンチの企業へ・・・

“映画や観劇など、今、苦しい思いをしながらも、おうちで楽しく過ごせるよう、さまざまなコンテンツを提供くださっているエンタメ業界にお金を落としてほしい”



#### <調査概要>

調査目的： 特別定額給付金10万円の使い道を把握する

対象者： シンジケートコミュニティに参加する20代-60代男女647名

実施日： 4/27(木)～5/11(月)

イプソスの『シンジケート・コミュニティ』で、消費者の“今”について気軽に聞いてみませんか？



詳細につきましては、担当までお問合せ下さい

イプソス株式会社 | <http://www.ipsos.jp>

担当：野口 [junko.noguchi@ipsos.com](mailto:junko.noguchi@ipsos.com) | 井上 [sayuri.inoue@ipsos.com](mailto:sayuri.inoue@ipsos.com)